

# 令和6年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【三室小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>&lt;学習上の課題&gt; 国語では、どの学年においても主語と述語に関する問題についての正答率が低い。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 児童が反復・習熟に取り組む時間の設定が不十分である。</p>	<p>⇒ 主語と述語に関する指導内容の系統性を明確にし、各学年毎におさえるべき内容をデータにまとめ、年間指導計画に別紙として織り込む【5月まで】。上記の点を踏まえ日々の指導の改善に努めるとともに、児童が振り返りを書く際に、主語と述語を明らかにしながら書くことを全教科で徹底する【年間・R6年度さいたま市学習状況調査「文の中の主語と述語の関係を理解することができる」の質問項目において、市の平均を上回る】。</p>
思考・判断・表現	<p>&lt;学習上の課題&gt; 国語では、「読むこと」において、作者の心情やその場の情景について描写を基に捉えたり、目的に応じて中心になる語や文を捉えて読んですることに課題がある。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt; 読書活動に取り組む時間が、市の平均と比べて少ない。また、授業において児童が読み取ったことを自己表現する機会を十分に確保できていない。</p>	<p>⇒ 日々の読書タイムの時間を確保し、学校生活において読書に取り組む習慣を育成する【年間】。学校課題研修と連携してICT機器を効果的に活用し、児童が読み取ったことを伝え合い、考えを広げたり深めたりする場面を設定する【年間・校内アンケートにおいて、肯定的回答割合80%達成】。</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	算数では、「数と計算」の領域において課題がみられた。除数が小数であるとき、除数が小さい数になった時の不正解率が高い。除数と商の大きさの関係について理解が不十分な児童が多いと考えられる。計算の仕方だけでなく、「なぜその答えとなるのか」を考えたり説明したりする活動を重点的に取り入れていきたい。	
思考・判断・表現	国語では、自分の考えをまとめる記述式の問題形式において課題がみられた。しかし、本調査における「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか」の項目においては、肯定的な回答の割合が93.2%であった。今後、そのような学習活動の時間を確保することだけでなく、学びを深めるために協働的な学びの時間を確保するなど、質の向上に努めていきたい。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	別紙の作成とともに、「円滑な接続のための留意事項」の欄にも追記を行った。今後は更に全教科の学習(特に、国語・社会)を通して、主語・主体を明確にしながら教員が授業を構成することに努めていく必要がある。	変更なし
思考・判断・表現	B	各学年の発達段階に応じて、毎日の読書タイムの時間を確実に確保できるようになってきた。ICT機器の効果的な活用については、活用のねらい・児童の発達段階に応じて、単元の中で計画的に位置づけられるように努めている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)